

# 呉港祭開催！

**平成24年2月5日（日）に今年度も恒例の呉港祭が開催されます。**

**教育後援会では、今年度もバザーを開催いたします。今回は次のようなバザーを企画しております。ぜひ、みなさんお誘い合わせの上、お越し下さいませ。**

- ・ 物品バザー
- ・ お楽しみくじ（素敵な商品をご用意しております。）
- ・ 野菜、花の販売
- ・ 喫茶コーナー

**このバザーの収益は本校での生徒活動補助、施設整備補助等に活用させていただきます。**

日々の寒さも厳しさを増し、冬の訪れを感じる季節となりました。皆様、いかがお過ごしですか。

今年は、学校では新たな取り組みが行なわれました。二学期の中旬から、本校の学校説明会を限定ではありすが地域ごとに実施し、本校の様子についてより広く広報が行なわれました。

説明会に参加して、本校に関心を持ってくださる方が何人もいらっしやるということ、取り巻く状況が変化しつつあることを肌で感じました。

私立高校という立場で、学校運営や教育活動に、より独自性が求められる中で、現在の状況を皆さんはどのよう感じておられるでしょうか。費用面における公立高校との公私間格差というものも実情として存在しますが、子どもたちにとってこのかけがえのない高校生活を、いかによりよい環境で過ごさせていくかによって、将来が大きく左右されると思います。

本校での学校改革の取り組みも数年を経過し、現在ではその成果が結実しつつあると感じています。生徒たちの様子を見るとあたり、個々の中で社会性をより身に付けていると感じることのひとつに、『挨拶ができる』ことが挙げられます。当たり前のことが当たり前にできる、一見普通のことですが、これが意外と難しいのです。このような基本的な社会性を身に付けることにより、資格取得や進学への取り組みなど、次なる目標へ進む力となっているのではないかと感じます。また、服装やマナーの面においても知り得る限りではその向上が見られるように感じています。

このように変化し改革されつつある本校の状況を、保護者としても次の段階へと進んでいくように考えていかなければならないものと思います。

子どもたちの母校の繁栄は、やはり喜ばしいことです。近年の小学校統廃合では、母校の衰退を感じた子どもたち

ち、保護者の方々もおられることと思います。

子どもたちが社会に出て、やがて我々の世代に近づき、ふと振り返り母校を感じた時、過ごした時間に胸を張れるよう、次の世代に継承することが大切なことではないかと感じています。

皆様には、それぞれの立場で感じてもらえることを、それぞれの立場で学校のことを伝えていただければと思います。

これから年末年始を迎え、何かと不規則な生活になりがちではありますが、皆様方におかれましては、くれぐれも体調には気をつけていただき、良き年をお迎えください。

三年生にとっては残り少ない高校生活です。残りの時間を大切に過ごし、来春への準備の時間として欲しいと願っております。また二年生、一年生にはこれからの高校生活が、より充実したものとなるよう過ごして欲しいと願っております。